

令和2年度 児童養護施設事業報告

(四恩学園・四恩たまみず園)

1. 総括

令和2年度においては、(1)充足率の上昇 (2)アセスメント会議の充実 (3)人材確保 を重点項目として取り組みました。

(1)については、収入を安定させることと児童養護施設としての使命を果たすため、四恩学園は80% (71名)、四恩たまみず園は90% (50名) を目標数値としました。

(2)については、入所児童の心の安定と自己肯定感を高めることを目的とし、より丁寧な関わりを目指しました。

(3)については、将来的に想定される「小規模化」に向けて、人材確保に取り組みました。その結果、13名の新卒採用につながりました。この人材の育成を進めて参ります。

2. 財務の視点「収入を安定させる」

収入を安定させることと児童養護施設としての使命を果たすため、充足率の向上に取り組みました。

- ・四恩学園：令和3年4月1日現在63名・充足率71% (本体施設のみ)
- ・四恩たまみず園：令和3年4月1日現在44名・充足率80%

四恩学園、四恩たまみず園ともに暫定定員設定に至っており、四恩学園71名 (充足率80%)、四恩たまみず園50名 (90%) を目指します。

3. 顧客の視点「自分も他人も大切に作る心を育みます」

【1】自分を知り、自己肯定感を高める

入所児童の心の安定と自己肯定感を高めることを目的とし、より丁寧な関わりを目指しました。

- ・アセスメント会議

令和2年度実績：四恩学園22ケース、四恩たまみず園26ケース

- ・ライフストーリーワーク

令和2年度実績：四恩学園5ケース、四恩たまみず園2ケース

- ・発達検査の実施

令和2年度実績：四恩学園14ケース、四恩たまみず園6ケース

【2】心に寄り添われた経験の構築

存在を認められていると感じる日常生活を実現させるため、「コロナ禍でもできること」を念頭に、日常生活の品質向上に取り組みました。

4. 内部統制の視点「職員の労働条件を改善し、働きやすい環境を整備する」

- ・働きやすい職場環境の整備

各部署に配置基準以上の職員配置が実現したこともあり、全職員が公休を消化しました。有給休暇も全職員が5日間以上消化し、今後も有給消化率の向上に取り組みます。

- ・勤務時間、時間外勤務の把握を徹底し、時間外勤務の削減に取り組みました
令和元年度実績：四恩学園 2,458 時間、四恩たまみず園 756 時間
令和 2 年度実績：四恩学園 1,370 時間、四恩たまみず園 623 時間

5. 学習と成長の視点「各学校へのプロモーションを強化する」

人材確保につなげるため、実習生や就職説明会・見学会来園者への丁寧な対応、各学校とのパイプの強化などに取り組みました。コロナ禍において、減少する「出会いの機会」を大切に扱いました。

各部署の職員が集まり「実習生部会」を作り、部会所属職員を中心に実習生への指導内容の確認、各職員の実習生への対応確認などに取り組み、「実習生受け入れマニュアル」が完成しました。その結果、当園での実習経験者やその知り合いなど 6 名が就職につながりました。その他にも、「学校の就職課で勧められました」などの意見を聞くことができました。